

「平清盛」

□ なぜ平清盛の本を選んだかと言うと、だからです。

□ 平清盛は 1118 年に生まれました。今から 900 年以上も前なので、権力争いがひどく、たくさんの人が殺されたり、戦をしたり、（おそろしい / こわい / ぶっそうな / 平和とはほど遠い）時代だと思いました。

もし私がこの時代に生きていたとしたら、だと思いました / だと感じました。

□ 歴史上の有名な人は、○○○○や○○○○(武士) など、武将 / 武士が多いので「武士の身分が低い」「武士だということで見られる」ということが不思議でした / 理解できませんでした / 新鮮に思えました。

□ 平清盛は瀬戸内海を船が安全に航海できるように整備しました。今の神戸のあたりに大和田泊（おおわだのとまり）という貿易船が入れる大きな港を作りなおしました。安全な航路や港ができれば、宋（中国）との貿易が盛んになります。平清盛はただ権力を力づくで奪うのではなく、外交や環境整備など国を豊かにすることが考えられる政治家 / 国を発展させることができるリーダー / 新しいことが考えられるアイデアマンで、それを実行に移すことができる行動力のある人だったと思います。

□ 平清盛は自分の一族、平家の人間を重要な役職につけて、権力を独り占めしようとしました。

□ 私も【自分や身近な人が 独り占め / 自己中心的な行動で失敗した体験】①状況の説明：いつ・どこで・だれが / だれに②行動：きっかけ / 理由・何を・どうした・どのように / どのくらい・なぜ / どうして

③状況 / 心の変化：どうなったのか、どう思ったのか、何が変わったかということがありました。
そのとき私は（そのときの行動 / 経験 / 態度）してしまいました。

今思えば、だと思いました / だと感じました。

それからは、自己中心的になりそうなとき / 身勝手な気持ちになりそうなとき
と考えるようになりました / 思うようになりました。

□ もし平清盛が、という方法をとっていたら / しなかったら
歴史は変わって、になっていたかも知れません。

□ 権力の / リーダーシップの / みんなで何かを達成する ことを考えるとき、平清盛 / 平氏のことを思い出し、
ということで失敗しないように / 自分勝手にならないように / 人の意見を聞けるように

という気持ちを持ちたい / 忘れないようにしたい / 考えたいと思いました。